

太平洋戦争から問われること

理事長 加藤 智恵子

8月15日は終戦記念日でした。長崎、広島に原爆が落とされ、日本が敗戦を宣告し、国民が望んでもいかなかった忌まわしい戦争が終わった日です。

ご存知でしょうか。「疎開」という言葉を聞いたことがありますか。

疎開には、集団疎開と縁故疎開がありました。疎開は戦争の惨禍から子供達を守った画期的な国家事業だと思っている人も多く、戦争孤児の問題と結びつけて考えられていないようです。子供を大事にするということが目的ではなく、次期戦闘要員の確保のため、一旦地方の安全な場所に避難させることが目的だったと云われています。当時、健康で元気な子供達だけが疎開させられ、病弱であるとか障害のある子供達は置いて行かれました。疎開には1人当たり毎月10円という費用が必要でした。当時の学校の先生の初任給は50円でしたから、かなり高額だったと云えます。

私は、昭和17年4月に、町会長をしている父親と姉を残して、群馬県伊香保温泉の旅館の一室を借り受け、母と兄と3人で疎開しました。昭和20年3月10日の東京大空襲の時には、夜中に母に起こされ、東京の方角を見ると空は真っ赤になっていて、それは子供ながらに恐ろしい気がしました。

伊香保で小学校3年生迄過ごし、終戦と同時に家に帰って来ました。

上野駅に着き、亀戸駅まで電車で帰って来たのですが、駅に着いたら一面が焼け野原で、ガード下には黒焦げの死体が重なって置いてありました。現実とは思えない光景が広がっているのを目の当たりして頭が真っ白になりました。でも父も姉も元気でした。実家は大きかったので砂町警察署となっており、びっくりもしました。

私がいつも思っていることは、戦争は「人災」であるということです。戦争は人を残酷にし、命を大事に出来なくなってしまうし、弱者に対する思いやりの心も失ってしまいます。戦争は人間が起こしているわけですから、「人災」と云えます。その為、都合の悪いことは公表されず、全て隠されてしまいます。

今、新型コロナウイルスによる影響で世界中が混乱していますが、これは地震や洪水などと同じく、自然災害といって良いでしょう。ですから、世界中に詳細が報道されます。

戦後70年以上が過ぎ、戦争を知らない世代が大半を占めるような時代になり、またしても戦争が出来る国になりそうな気配を感じるのは私だけでしょうか。

多くの人に戦争の真実を知っていただき、改めて戦争とは何かを考えていかなければならないのは今でしょう！



敗戦直後の亀戸の様子

新型コロナウイルス感染症対応について

事務局長 南波 清也

◆◆◆ 不安の中で ◆◆◆

2月以降、新型コロナの脅威拡大に伴い、各事業所では、三密状態の解消に努め、感染防止対策を行ってきました。併せて、宿泊行事や外出行事の中止・自粛等を行い、利用者には、体調不良時は休むことを求めています。

この対応により、利用者も、マスクの着用、こまめな手洗い、消毒、検温が求められるとともに、通所自粛により家で過ごさなければならない、楽しみにしていた行事がすべてなくなる、土日もヘルパーとの外出がなくなるなど、たくさんのストレスが生じたことと思います。

私たちとしても、福祉は本来「ふれあい」を大事にし、人と人の温もりを感じるような距離間を大事にしてきただけに、ソーシャルディスタンスの確保と言われて戸惑うことも多くありました。身体的介護を要する重度重複や医療的ケアのある方、重度身体障害のある方たちにとっては、日々の暮らしや命に係わることであり、本当に困っていることと思います。

4/7には緊急事態宣言が出されました。社会福祉事業に、国・都が求めたのは「適切な感染防止対策の協力要請」でした。不安が増す日々でしたが、利用者に利用自粛をお願いする形で運営を続けました。ただ「適切な感染防止対策」と言われても、それに必要なマスクや消毒薬等が手に入らないというのには非常に困りました。職員も自分がかかって利用者にうつしたらどうしよう、家族にうつしたらどうしよう、施設で発生したらどうしようと、切実な思いで日々の支援を行っていました。

5/25の緊急事態宣言解除を受け、6月からは通常運営に向けた取り組みを行いました。その結果、法人内での利用者通所比率は、緊急事態宣言前後の4/14~5/31は24.5%でしたが、6/1~30では66.9%となり、現在では大半の事業所が90%以上の出席率となっています。現在も一部ですが、新型コロナへの不安で通所を控えている方もいます。

そんな中、ニューノーマルで三密を避けた運営を求められています。が、もともと肩を寄せ合うような状況で作業をしていただけに難しい所があります。特に人と人の距離をとるのは厳しく、一部事業所では、午前と午後に別れて通所してもらう、登所時間、帰所時間をずらすなどの取り組みを続けています。

グループホームも、出来るだけ家庭的な雰囲気をとというのが基本ですが、食事での語らいは控え、親しき仲にもディスタンスという姿勢が求められています。介護施設や障害者支援施設等でのクラスター発生の報道には、明日は我が身の心持ちです。

◆◆◆ ウィズ コロナ ? ◆◆◆

これまでの取り組みは、ご家族も含めた利用者や職員の理解や協力があってこそと感謝しています。現在も、いつ感染者が出てもおかしくない状況ですが、一日も早くマスクなしで利用者と面と向かって笑いあえる日が来ることを願わずにははいられません。

新型コロナには夏休みもないようですが、人間が緊張し続けるには限界があります。不安は続きますが、適度に気持ちを休めながらやっていく必要があると感じています。これからは、ウィズコロナの視点で、過度に恐れず、メリハリをつけた運営を行っていきたいと考えています。ウィズ利用者で。



一部事業所のコロナ対応の取り組みをご紹介します

菜の花作業所

今までは1箇所だった手洗い場ですが、外に3箇所・中に2箇所増設し、混雑・密にならずに手洗いが出来るようになりました。



江戸川区立福祉作業所

今までグループごとに向い合って摂っていた昼食。マスクなしでも安心して食べられるよう、一人一人の間隔を十分に保ち、アクリル板を使って飛沫対策をしています。



とらいあんぐる

今では検温・消毒は欠かせないものになりました。来所された利用者さんには必ず行うようにしています。



すみれ福祉作業所

食事時はおしゃべりしない事が基本ですが、万が一のためフェイスシールドを使用して、飛沫対策をしています。



江戸川かもめ 第一事業所

換気の為に窓・扉を開けていると、室内の温度が下がりますが、熱中症にならないようにと、エアコンを増設しました。



現在の午前・午後に分かれた様子



コロナ以前の様子

江戸川かもめ 第二事業所

現在、午前・午後に分かれて通所しています。三密対策は十分です！

Hiwa Hiwa ヒヴァヒヴァ 営業再開のお知らせ

現在、Fax 注文や Web サイトからのご注文を主として、営業しております。
店頭販売は、時間を短縮し、お持ち帰りのみ（イートインは中止）とさせていただきます。

おすすめ商品は、新商品の花言葉付きフラワーセット（6 種入）やお手軽な水出しコーヒー（10 個入）です！

フラワーセットは、現在店頭にて販売中です。カフェインレスコーヒーやギフト商品もございます。
ご来店が難しい場合、配送できますので、お気軽にお電話やメールにてご連絡ください。
ご注文、お待ちしております！

営業時間 午前 9 : 30 ~ 11 : 30 午後 1 : 30 ~ 3 : 30（定休日：土・日・祝日）

☎…03-6808-9211 ✉…hiwahiwa@edogawa-nanohana.or.jp

ホームページ <https://www.edogawa-nanohana.or.jp/hiwahiwa/index.html>



Web サイト



ベリイソイズ からのお知らせ

現在、イートインスペースは使用せず、**店頭販売のみ**とさせていただきます。
大好評「もちもちくん。めんたいこチーズ」（M●>・<●M）。☆♡

☆油で揚げずオーブンで焼いたドーナツ●

☆日替わりメニューのひとつとして加わりました。

ソフトクリーム ￥250 ドーナツソフトクリーム ￥350



大人気の「チョコミント」。冷やして
食べるととってもおいしいよ(^^♪
チョコミントの販売は、9/7 まで。
9/8 ~ ハロウィン仕様のドーナツを
販売予定。



ベリイソイズ
村中主任



営業時間 午前 10 : 00 ~ 午後 4 : 00（定休日：日・月・祝日）

〒133-0051 東京都江戸川区北小岩 2-14-17 共育プラザ小岩内

レジ付近はビニールシートで
感染予防対策をしています

ほっこり エピソード

あるめりあ

～はじまる、新しい生活様式～

コロナの影響で様々なイベントが中止になる
中、少しでも皆さんに楽しいひと時を過ごして
ほしいと思い企画したのが、この**リモート
誕生会**です♪

今までは、中葛西ユニットの
一階スペースに 20 名ほど集まっ
て行っていましたが、このご時世、そ
うもいきません。テクノロジーと知恵を絞っ
て総勢 30 名を超える人数が、テレビ画面を通し
て一つの行事を楽しみました。海鮮丼や彩りサラ
ダ、ビンゴゲームと景品で大満足！でした。

日々是好日。



編集後記

菜の花だより編集スタッフ(広報部員)に新たに 3 人の戦力が加わりました。今後の活躍がとても楽しみです。コロナ禍の今、外出や行事は軒並み中止・延期で、菜の花だよりの内容も普段とは多少異なりますが、引き続き、事業所・法人の近況をお伝えしていきますのでよろしくお願いします!! 広報部 稲田 竜一郎